

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	あかいわ児童発達支援センター（児童発達支援 もみじの家）		
○保護者評価実施期間	8年 1月 7日		8年 1月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	67	(回答者数) 62
○従業者評価実施期間	8年 1月 7日		8年 1月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	8年 3月 18日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>限られたスペースを最大限に活用し、多様なこどものニーズに応じようとする工夫と努力が大きく支えられていると感じる。</li> <li>グループに応じて環境を設定している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状に満足せず、利用している子に合わせた環境作りを職員全員で考える。</li> </ul>
2	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援計画の作成については、こどもの発達に合わせて支援するアセスメントシートや太田ステージ等のツールを使用し、個々のアセスメントをとるようにしている。それを懇談で丁寧に説明するよう心がけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>こどもたちのにとって適切な計画を作成し、保護者にも手厚に伝え、一緒にこどもの育ちを支える。</li> </ul>
3	事業所の職員から共感的に支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>懇談で保護者の方の気持ちをしっかり聞き取り、寄り添った計画ができています。</li> <li>送迎時や連絡帳、必要に応じての懇談や相談により、保護者との連携を丁寧にしている。また、こどものいい姿を保護者と共有できるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>こどものいい姿を捉え、保護者と一緒に育ちを喜び合える関係づくりを今後も心がける。</li> </ul>

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの子は所属園があるので交流は難しい。所属園がない年長児に関しては保育園等に出向き交流する機会を設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画的に交流の機会を設ける。</li> </ul>
2	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供等の機会が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>土曜日に2度開催したが、参加しづらい保護者もいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>なるべく多くの方が参加できるよう、開催日や頻度について検討する。</li> </ul>
3	保護者会等の開催等により保護者同士の交流の機会は設けているが、参加が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>土曜日に保護者会や座談会の機会を設けたが、参加しづらい保護者もいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>なるべく多くの方が参加できるよう、開催日や頻度について検討する。</li> </ul>

令和8年3月18日

保護者の皆様

あかいわ児童発達支援センター  
所長 平中 健

もみじの家評価アンケートについて（ご回答）

平素より当事業所の運営にご理解・ご協力いただきありがとうございます。先日ご回答いただきました評価アンケートの集計結果を下記の通りお知らせいたします。

回答数 62 / 家庭数 67 (回収率 92.5%)

内容		62	67	92.5%	ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	いいえ			
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	60	1	0	1	活動によってスペースが狭くならないよう、環境を工夫します。
		96.8%	1.6%	0.0%	1.6%	
	2 職員の配置数や専門性は適切であると思いますか。	52	2	1	7	研修参加や、事例検討など職員も学びの機会を持っています。今後も、個々に合わせた支援ができるよう、専門性を高めます。
		83.9%	3.2%	1.6%	11.3%	
3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境(こども本人にわかりやすくすること)になっていると思いますか。また事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	54	2	0	6	壁、床の板張りについて、木材の中でも柔らかいものを使用しています。その中で、怪我をしないような配慮をしながら、こども自身も怪我をしない体づくりができるようサポートします。	
	87.1%	3.2%	0.0%	9.7%		
4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	55	3	0	4	板張りの空間は怪我のリスクが大きいと答えたが、子どもたちの心のケアや、落ち着ける空間という面で、板張りの施設は、温かみがあって良いと思う。 ①と同様の答えです。	
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	55	4	0	2	療育内容について、理由や目的を伝えきれないこともあり、申し訳ありません。こどもたちにとってを考えながら、そのことを保護者の方々にも丁寧に伝えることを心がけます。
		88.7%	6.5%	0.0%	3.2%	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容とあっていると思いますか。	55	2	0	5	
		88.7%	3.2%	0.0%	8.1%	
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)が作成されていると思いますか。	57	3	0	2	支援計画も、これから頂くと思うので、楽しみにしています。よろしくお願ひいたします。 面談等細かなことを報告し、計画して下さっていると思います。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	53	2	0	7	子どもとの接し方に悩んだ時に、連絡帳に書くと、子どものことを理解して下さっていて、的確なアドバイスをいただけて、親としてもありがたかったです。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	59	1	0	2	これから期待しています。
95.2%		1.6%	0.0%	3.2%		
10 活動プログラムが固定化しないよう工夫されていると思いますか。	54	4	0	4	いろいろなことに挑戦させてもらっていると思います。	
11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	28	7	4	23	1月から保育園に通っているが、それまでは、地域の親子クラブや、子育て支援センターのイベントに通っていた。 夏祭り等。	

保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	60	1	0	1	96.8%	1.6%	0.0%	1.6%		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされましたか。	59	0	1	2	95.2%	0.0%	1.6%	3.2%		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供等の機会が行われていますか。	53	1	1	7	85.5%	1.6%	1.6%	11.3%	・一度親子療育に参加させていただいた時、子どもの活動を見ることができると思っていたら、意見交換会だった。とても有意義な時間にはなったが、子どもが活動する姿を見なかったので少し残念でした。せっかく参加できる機会なので、事前にどんな内容にするかを伝えていただけたらと良かったと思いました。 ・行きたくても他の兄弟がいるので行かない。	土曜療育についても、内容を十分に伝えるように心がけます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	53	8	0	1	85.5%	12.9%	0.0%	1.6%	・連絡帳でのやりとりなので、療育でしたことはわかりますが、発達状況は共通理解できているのかは、わかりません。 ・不安なことや子どもも園でできないことを指摘されるたび苦しかったですが、もみじの家でこどもの今の姿に寄り添い支えてくださり親子できてよかったです。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	55	5	1	1	88.7%	8.1%	1.6%	1.6%	・今年度はなかった。 ・子育てで困っていたら、別日に面談をしてくれてとても助かった。 ・平日は送迎が出来ず、連絡帳のみでのやり取りになってしまいますので、仕事終わりなど(もしくは土日など)でもお話出来る時がたまにあったら嬉しいなと思います。	平日17時30分までや土曜日も職員はいる時は対応可能です。なるべく希望に合わせた、面談等ができるよう心がけます。
保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	57	2	0	3	91.9%	3.2%	0.0%	4.8%	・まだ、面談が終わっただけで、利用はこれからですが、子どもが顔や脚にあざを作りやすいことを話したら、先日子どもと一緒に訪問した時のことを覚えておられるスタッフが出て、確かにおでこにあざがあったね、と言われ、見学に行っただけの子のことも、よく見て理解して下さっていることに、安心しました。 ・保育園だけでは得られない答えをたくさんいただきました。子育てに正解はないんだと思いますが子どものことを一緒に考えてもらってうれしかったです。 ・いつも優しい声がけをさせていただいています。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされていますか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	39	8	2	13	62.9%	12.9%	3.2%	21.0%	・父母の会があることを知らなかった。	保護者会役員の方々、環境整備等を開催してくださいました。
	19	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者にそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	51	3	0	8	82.3%	4.8%	0.0%	12.9%	・子どもがあさりアレルギーがある事について、血液検査では数値が出ないタイプのアレルギーだが、きちんとそれ(消化管アレルギー)を書く欄のある、診断書の紙を渡されたことに、すごく安心感を覚えた。保育園では、血液検査では数値が出ないことや、即効性ではないことなどから、アレルギーとは違うもの、という認識をされていて、説明が難しく、困っていたので、もみじの家の対応にはすごく安心感が持てた。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	57	4	0	1	91.9%	6.5%	0.0%	1.6%	・連絡帳へのていねいな記載。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果がこどもや保護者に対して発信されていますか。	56	2	0	4	90.3%	3.2%	0.0%	6.5%		
	22	個人情報の取り扱いに十分留意されていると思いますか。	57	3	0	2	91.9%	4.8%	0.0%	3.2%	・完璧。 ・こちらのアンケートですが、一般的にアンケートは任意のイメージがあったので、優先度が一番低くなってしまったのと、私の携帯が古いものなので、スクリーン通知もすぐにはうまく届かなく、返信を忘れてしまっていたので、ご迷惑をおかけしました。本当にごめんなさい。ただ、気になることがありまして、誰が回答をしないのかが把握できる状態で(アンケートは個人を特定するものではないと思込んでいて…)返答してない今回のように強制で返答するよう指示があるということに驚きました。この流れだと、このアンケートは強制ということになると思うので、最初から回答必須という文字を入れておいたらわかりやすかったかな、と思います。あと強制でしたら、スクリーンだけの通知ではなく紙面での通知も欲しいです(そうすれば忘れも防げるかと)。この欄に書くのは間違いかなあと思いましたが、個人情報も気になったので、こちらの欄に記入しました。一方的に意見を記入してしまい、申し訳ないです。個人的な意見と思っただけであれば幸いです。よろしく願います。	・アンケートについて、任意と言いつつ何度も催促するような形になってしまい、申し訳ありませんでした。皆様からいただいた大切な意見を基に、こどもたちにとってよりよいサポートができるよう、職員と一緒に考えます。
	非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルが策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	47	3	0	12	75.8%	4.8%	0.0%	19.4%	
24		事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか。	47	2	0	13	75.8%	3.2%	0.0%	21.0%	・先日の地震の際は迅速に対応の報告があったと思います。	
25		事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	49	2	0	11	79.0%	3.2%	0.0%	17.7%		
26		事故等(怪我を含む)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	44	3	1	13	71.0%	4.8%	1.6%	21.0%		

満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	58	1	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎週もみじの家に行く際はとても喜んでいきます。</li> <li>まだ少し不安感はあるようですが、本人のペースで安心できる居場所を見つけられたらいいと思います。</li> <li>これからのため。</li> <li>子どもが先生のことが大好きなので、本当に安心して通うことができます、ありがとうございます。</li> </ul>	
			93.5%	1.6%	1.6%	3.2%		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	56	4	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育園よりも好きみたい。</li> <li>年長になって、寝れないから眠いと何度か言いましたが、やっぱり楽しいようで、不定期の利用時にもやっとなー！と喜んで行っています。</li> <li>毎週楽しみに自分で準備をしています。</li> <li>帰ってきたときは楽しかったと言っています。</li> <li>早くもみじの家遊びにいきたいなー！と言っています。</li> <li>行き渋りもあつたりするが、活動は楽しんでいると思う。</li> <li>決まった日程は毎日楽しみに通っています。前日から「明日はもみじ♪」と楽しそうです。ただ、振替で入れてくださった予定については家では「行きたくない」と言っています。</li> <li>もみじ行くー！と、朝は元気に準備しています。</li> <li>子どもは毎週楽しみにしています。子どものことをよく考えてくださり、本当にありがとうございます。</li> <li>明日はもみじだよと伝えるとやっとなーとよく言っています。</li> </ul>	
90.3%			6.5%	1.6%	1.6%			
29	事業所の支援に満足していますか。		56	5	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが認めてもらえる場ができ、ありがたく思っています。</li> <li>いつもありがとうございます。</li> <li>今後に期待しています。よろしく願います。</li> <li>いつも丁寧に対応していただき、ありがとうございます。今後とも、親子共々よろしく願います。</li> <li>子どもが楽しみに通えているので満足しています。</li> <li>はじめは療育に行くかとても悩みましたが、行ってみると子どもがとても楽しく通えて、苦手な部分に丁寧に関わっていただき、もっと早く通ったらよかったな、と思いました。親の話もとても丁寧に聞いてくださり、ありがたかったです。いつもありがとうございます。</li> </ul>	<p>いつも、事業所の運営にご理解・ご協力いただきありがとうございます。保護者の皆様とともに子どもどもの育ちを支えられることをうれしく思います。</p> <p>相談時間につきましては、柔軟に対応していきますので、いつでもおっしゃってください。可能な範囲で対応します。</p> <p>今後も、子どもを真ん中に保護者の皆さんと一緒に子どもたちの育ちを喜び合いたいです。何かある時は、いつでも気軽にご相談ください。</p>
			90.3%	8.1%	0.0%	1.6%		

公表 事業所における自己評価結果

あかいわ児童発達支援センター（児童発達支援 もみじの家）

公表日 令和8年3月25日

項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
①利用定員が発達支援室等スペースとの関係で適切であるか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・3 部屋と広いホールがあり、少人数で過ごせたり体を動かせたりこどもにあった使い方ができる。</li> <li>・療育スペースと絵本スペースを分けていることで、活動する時、落ち着いてゆっくり過ごす時など、こどもたちに分かりやすく過ごすことができている。こども</li> <li>・各部屋の基準以内のグループ人数にしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもが落ち着いて過ごす環境を確保できない時には、ホールや戸外も有効に活用できるようにしている。</li> </ul>
②利用定員やこどもの状態などに対して、職員の配置数は適切であるか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもに合わせて必要な職員の配置をしている</li> <li>・こどもたちの様子により、職員体制を変える場合がある。手薄にならないことや、刺激を少なくするなど考えながらみんなで話し合っている。</li> <li>・定員数には合っているが、こどもの特性にとっては足りないと思う時もある。それぞれ声を掛け合って対応している。</li> <li>・その日により異なるこどもの数や実態に応じた職員配置を保障するためには職員数が不足していると感じます。</li> <li>・人員の基準は満たしている。</li> <li>・状況によっては人手がほしいと感じるが、職員同士協力し合うことでカバーされていると感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人員は満たしているが、個々の特性や状態に合わせて、余裕を持った職員配置の工夫が必要。</li> </ul>
③生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロッカーで活動や食事スペース、絵本スペースを分けているのが良い。</li> <li>・写真や絵カードを使用したり場所を区切るなどしてわかりやすくなっている。</li> <li>・限られたスペースを工夫して活用されていますが、個別スペースを設けるなどの余裕がもう少しあるとよいと思います。</li> <li>・グループに応じて行っている。</li> <li>・室内の環境として、スケジュールは数が多すぎないかなどグループやこどもに合わせて掲示するようにしている。</li> </ul>	

④生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。こども達の活動に合わせた空間となっているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由遊び時に広々したスペースがある。</li> <li>・おもちゃを口に入れてしまう子もいるので、適宜洗ったり消毒するようにしている。</li> <li>・広すぎず狭すぎずこどもたちにとって集中しやすいと思う。グループに応じて環境設定を行っている。</li> <li>・15時までの療育が終わると、丁寧に清掃し清潔を保つことができるようにしている。ロッカーの上や押入れなど、意識して整理するようにしている。</li> </ul>	
⑤必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な場合はパーテーションをしている。</li> <li>・その日空いている部屋を職員間で確認し、必要であれば部屋を移動できるようにしている。</li> <li>・クールダウン等に使える安全なスペースが確保できればよいと思います。</li> <li>・パーテーションで仕切る等し、落ち着ける空間を作っている。</li> </ul>	
⑥業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日ミーティングで話し合いができていると思う。</li> <li>・グループの担当同士で活動の前後に話し合っている。また、ミーティングで共有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員が参画できるような工夫は必要だと感じる。</li> </ul>
⑦保護者等向け評価表により保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・困ったことシートや連絡帳などで、保護者の思いを共有している。</li> <li>・年に1度、保護者に対するアンケートを行っている。</li> </ul>	
⑧職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日のミーティングが思うことを言い合える場になっていると思う。</li> <li>・日々のミーティングや職員会議などで行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員が参画できるような工夫は必要だと感じる。</li> </ul>
⑨第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施していないため、検討は必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、第三者評価等の導入を検討する。</li> </ul>
⑩職員の資質の向上を行うために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員一人ひとり研修の機会がある。</li> <li>・オンライン研修や施設外の研修に参加する機会を設けている。</li> </ul>	
⑪適切に支援プログラムが作成、公表されているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・公表をしている。</li> </ul>	
⑫個々のこどもに対して、アセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・懇談で保護者の気持ちを聞き取り、寄り添った計画を立てるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントを行い、より具体化した達成しやすい目標設定となるようにする。</li> </ul>

⑬児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討しながら、こどもに合った支援を考えている。</li> <li>・こどもと直接かかわっている職員と検討会議を行い、支援計画を作成している。</li> </ul>	
⑭児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討会議や回覧等で共有し、支援につないでいると思う。</li> <li>・日々のミーティングで支援を振り返る機会を設けている。</li> </ul>	
⑮ こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもの発達に合わせて支援するアセスメントシートを使用し、日々の様子の記録を取っている。</li> </ul>	
⑯児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」に「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援計画に組み込むようにしている。</li> <li>・具体化した計画を作成している。</li> </ul>	
⑰活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ毎に担当が話し合い活動プログラムをきめている。</li> <li>・職員同士話し合いながらプログラムを立てている。</li> </ul>	
⑱活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもたちの様子に合わせて工夫をしている。</li> <li>・グループに合ったプログラムを考え、工夫しているつもりであるが、少し偏りがあるかもしれない。</li> </ul>	
⑲こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別と集団のバランスを考えている。</li> <li>・個々の課題に合わせて、個別に活動をする時間も設けている。</li> </ul>	
⑳ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いをしているので、スムーズな進行ができています。</li> <li>・グループ毎に担当で支援内容について話し合っている。</li> </ul>	
㉑支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティングで支援についての振り返りを行っている。</li> </ul>	
㉒日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援時の様子や気になったことは記録に残すようにしている。</li> </ul>	

⑳定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか	○		・半年に一回行っている。	
㉑障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況を良く理解したものが参画しているか	○		・参加できる時間帯で依頼し、なるべく児童発達支援管理責任者と担当とで参加できるようにしている。	
㉒地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか	○		・『はい』だが、もう少し密に連携をとりたい機関もある。	・普段から関係機関等との連携を密にし、ケースに合わせてすぐに対応できるようにしておく。
㉓併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園部）等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・関係機関の連携等で連携を取れる園も増えてきている。	・今よりもう少し情報共有を密にしたい。
㉔就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・卒所前にそれぞれの就学先に資料を作成し渡すようにしている。	
㉕地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取り組みなどを行っているか	○			・定期的に情報交換会を行い連携を図れるようにする。
㉖質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか	○		・オンライン研修も含め研修に参加する機会を設けている。 ・職員は研修に参加している。	
㉗（自立支援）協議会、こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		・自立支援協議の部会に参加している。 ・参加しているが、職員全てではない。	
㉘地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか				
㉙保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか	○		・年長児に関してはできるだけしようとしている。	・地域のこどもたちと関わる機会を増やしていきたい。

③日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・連絡帳や送迎時に情報共有を行っている。送迎時に会えない保護者には電話や相談時間を設けている。	
④家族の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか	○		・ペアレントプログラムや座談会を行った。	
⑤運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・面談や契約時に説明を行っている。	
⑥児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか	○		・困ったこと確認シートや面談や懇談等で家族の意向を聞くようにしている。 ・困ったことシートの記載や連絡帳など、保護者の意向を知る機会がある。	
⑦「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		・直接説明する機会を設けている。	
⑧定期的に家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか	○		・懇談や必要に応じて面談時間を設けている。 ・相談に対して連絡帳で返答をしたり、必要であれば、事業所内相談をしている。	
⑨父母の会の活動を支援することや、保護者会などを開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか	○		・座談会を行う。参加しやすい工夫が必要だと感じる。 ・保護者同士の会や祭りなどを通じて設けている。	・参加しやすい日程、開催方法の工夫が必要だと思われる。
⑩こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・個別懇談や直接話をする時間を作り相談をうけている。	
⑪定期的に通信等を発行することや、HP や SNS 等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか	○		・定期的にホームページの更新や、月に一回施設だよりを発行している。	
⑫個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		・個人情報のあるものは、鍵のかかる場所で保管している。 ・写真では配慮しながら撮影している。	

⑬障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・視覚的に分かりやすくするなど工夫している。	
⑭事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	○		・行事や新年のあいさつに行っている。 ・近隣の方を夏祭りに招待し、事業所を知ってもらう機会を設けている。	・今後も地域へ出かけたり、招待したりする機会を作る。
⑮事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・マニュアルは誰でも見える場所に置いている。 ・定期的に訓練はしているが、マニュアルを周知できているかはわからない。	
⑯業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・職員会議等で共有する場を設けている。	・さまざまなことを想定した研修や訓練を定期的に行う。
⑰事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		・こどもの状況について一覧を作成し、周知している。 ・個人ファイルを見たり、職員間で共有している。	
⑱食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・アレルギーの診断書を基に対応している。 ・診断書を提出してもらい、アレルギーがある子どもは給食は別トレイで提供している。	
⑲安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか	○		・毎月避難訓練を行っている。 ・月一度安全チェックを行っている。	
⑳こどもの安全確保に関して、家族等と連携が図られるよう、安全規格に基づく取り組み内容について、家族等へ周知しているか	○		・家族への周知はできていないように感じる。	
51 ヒヤリハット事例集を事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか	○		・掲示と職員会議で周知を行っている。	
52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・職員会議で話し合いの場を設けている。	

<p>53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか</p>	<p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・利用児の中には身体拘束について支援計画に記載したケースはない。</li><li>・いかなる場合も子どもの安全を第一に考えている。ひとりで不安な時は周りの職員や主任に相談している。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・制限や禁止など身体拘束の適正化についての話し合いを行う場を設ける。</li></ul>
---	----------	--	--

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	あかいわ児童発達支援センター（保育所等訪問支援 てつなぎ）		
○保護者評価実施期間	8年 1月 7日		～ 8年 1月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	8年 1月 7日		～ 8年 1月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	8年 1月 7日		～ 8年 1月 15日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	8年 3月 18日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援ができています。	保護者や学校と連携し、その子が困っていることを理解・共有したことで丁寧に支援ができています。	引き続き、保護者・学校、そして本人からの困り感を捉え、丁寧に支援を行う。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていない。	訪問先の教具等を使っている。	必要であれば、支援ツールを用意する。
2			
3			

# 令和7年度 根っこの広場(保育所等訪問支援) 保護者評価アンケートの集計結果

A はい B どちらともいえない C いいえ 無 わからない 令和 8年 1月 21日集計

内容		てつなぎ 回収								
		2	一回答数 家庭数→	2	100.0%					
		A	B	C	無					
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	1	0	0	1	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	2	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	2	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	2	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員(職種や人数)体制だと思えますか。	2	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
適切な支援の提供	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	2	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画(個別支援計画)が作成されていると思えますか。	2	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	8	保育所等訪問支援計画(個別指導計画)には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	0	0	0	2	0%	0.0%	0.0%	100.0%
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	1	0	0	1	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	2	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	2	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされましたか。	2	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供等の機会が行われていますか。	2	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	15	必要な時にこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思えますか。	2	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

内 容		てつなぎ			
		A	B	C	わからない
保護者への説明等	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	0	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2	0	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	18 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者にそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2	0	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2	0	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	1	0	0	1
	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	
21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	2	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
22 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有が成されていると思いますか。	2	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
23 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果がこどもや保護者に対して発信されていますか。	1	0	0	1	
	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	
24 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
非常時等の対応	25 事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	1	0	0	1
		50.0%	0.0%	0.0%	50.0%
	26 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1	0	0	1
		50.0%	0.0%	0.0%	50.0%
満足度	27 こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	2	0	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	28 事業所の支援に満足していますか。	2	0	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

公表 事業所における自己評価結果

あかいわ児童発達支援センター（保育所等訪問支援 てつなぎ）

公表日 令和8年3月25日

項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
①訪問支援に使用する教具材料は適切であるか	○			
②利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか	○			
③業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
④保護者等向け評価表により保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	○		・保護者評価を実施する。	
⑤職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	○		・会議やミーティングを行っている。	
⑥第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	・外部評価は行っていない。	
⑦職員の資質の向上を行うために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか	○		・センター内で参加した研修の報告を聞く機会を設けている。	
⑧個々の子どもに対して、アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか	○		・相談支援のアセスメントや保護者の意向を取り入れ作成している。	
⑨保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	○		・支援にかかわる職員と検討会議を行っている。	
⑩保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか	○		・訪問時やアセスメントシートにより、意向を聞くようにしている。	
⑪保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか	○		・計画は職員間で共有し支援にあたっている。	

⑫こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	○		・利用している事業所の情報を共有してもらったり、個々に応じたアセスメント方法を使用したりしている。	
⑬保育所等訪問支援計画計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき支援」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・半年に一回モニタリングを行っている。	
⑭保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか	○		・計画は職員間で共有し支援にあたっている。	
⑮支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか	○		・訪問前にはミーティングを行っている。	
⑯支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・訪問後にはミーティングを行い、振り返る場を設けている。	
⑰保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか	○		・訪問先に話をじっくり聞く場を設け、支援内容等尊重するようにしている。	
⑱毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・支援後には報告書を作成し、記録に残すようにしている。	
⑲定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか	○		・半年に一回モニタリングを行ったり、訪問時に見直しを行ったりしている。	
⑳障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況を良く理解したものが参画しているか	○		・児童発達支援管理責任者や訪問支援員が参加するようにしている。	
㉑地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか	○			
㉒就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
㉓質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか	○		・センター内で参加した研修の報告を聞く場を設けている。	
㉔（自立支援）協議会、子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		・自立支援協議会の各部会に参加している。	

②5日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達 の状況や課題について共通理解を持っているか		○	・気軽に相談できる工夫をしていきたい。	
②6家族の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族 支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の 参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか	○		・支援の必要な家族について関係機関と連携して取り組みを進 める。	
②7運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている か	○		・契約時に直接説明するようにしている。	
②8訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等につい て適切に説明を行っているか	○		・訪問に入る際には、直接説明する機会を設けている。	
②9保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者 の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏 まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている か	○		・面談やアセスメントにより意向を確認し、計画に取り入れてい る。	
③0「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を 行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ている か	○		・直接話をする機会を設けている。	
③1定期的に家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適 切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか	○		・随時受け付けているため、定期的な機会は設けていない。	
③2父母の会の活動を支援することや、保護者会などを開催す る等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援 をしているか。きょうだい同士で交流する機会を設ける等 の支援をしているか	○		・放デイや児発を併用している保護者は参加している。	
③3こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制 を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申 入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・定期的に話ができる体制を整えたい。	
③4定期的に通信等を発行することや、HP や SNS 等を活用 することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報 をこどもや保護者に対して発信しているか		○	・情報を発信できる体制を整えたい。	
③5個人情報の取扱いに十分留意しているか	○		・個人情報は鍵のかかる場所で管理している。	

⑩障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・視覚的に分かりやすくするなどの工夫をしている。	
⑪訪問支援に加え、訪問先からの相談等に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか	○		・気軽に相談できる工夫が必要。	
⑫保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか	○			
⑬保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか	○		・訪問実施後に、直接話をする機会を設けている。	
⑭個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		・個人情報は鍵のかかる場所で管理している。	
⑮訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか	○		・気軽に相談できる工夫が必要。	
⑯事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・マニュアルは誰でも閲覧できる場所に置いている。	
⑰安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか	○		・マニュアルに沿って対応できるようにしている。	
⑱ヒヤリハット事例集を事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか	○		・掲示し周知している。	
⑲虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・外部の研修に参加したり、ケース会議をしたりしている。	
⑳どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		・担当している児童の中には、身体拘束を記載したケースはない。	

社会福祉法人 岡山こども協会

○あかいわ児童発達支援センター もみじの家

・放課後等デイサービス こぶしの家

○放課後等デイサービス あんずの家

○児童発達支援・放課後等デイサービス かえでの家



作成年月日 令和7年2月25日

わたしたち岡山こども協会は

いつでもだれでも

私たち法人を必要とするすべての方に門を開いています。

一人ひとりを大切に

こどもたち一人ひとりが、友だちとともに豊かな経験ができるようにします。

おとなも育つ

親・保育者・地域のこどもをとりまくおとなが、こどもとともに育つ場所にします。

新たな一歩

社会や地域のニーズに目を向け、社会福祉施設として、幅広い世代を支える事業を進めます。

を目指します。

法人理念

## 『生きる力』を育みます。

生活する力

【健康・生活】身辺自立、社会生活に必要なスキルをスモールステップで身につけられるよう支援します。

【認知・行動】生活スキルやマナー、公共機関の利用方法など社会生活に必要なスキルをご家族と協力しながら伝えていきます。

人とかかわる力

【言語・コミュニケーション】自己表現の方法をこどもや保護者と一緒に考えていきます。

【人間関係・社会性】自由時間の過ごし方や友だちとの交流の仕方など、小集団の中で身につけられるよう支援します。

【人間関係・社会性】人とより良い関係が作れるようこどもにあった方法で伝えます。

学ぶ力

【健康・生活】個々のこどもが活動しやすい環境設定に努めます。

【人間関係・社会性】「楽しめること」「わかること」を見つけ、そのことがこどもの「強み」になるよう支援します。

【言語・コミュニケーション】質問したり、援助要求を出したりする方法を身につけられるよう支援します。

【運動・感覚】あそびや活動を通して、指先の巧緻性や身体を使う力を養います。



家族支援

- ・懇談の実施
- ・連絡帳を介したこどもの情報共有
- ・支援内容に関する情報発信
- ・つながるカフェ

移行支援

- ・ライフステージの切り替えを見据えた取り組み
- ・在籍園・校や就学先、就労先との情報共有

地域支援・地域連携

- ・在籍園・校との情報共有
- ・地域資源の活用
- ・同敷地内療育施設との交流

職員の質の向上に資する取組

- ・経験年数に応じたフォローアップ研修や法人内研修の実施
- ・障がい理解を深める県内外の研修への参加

連携した療育の実施

あかいわ児童発達支援センターでは就学前から18歳までのお子さんを対象に継続した療育を実施しています。相談支援事業、保育所等訪問支援事業、所属園、在籍校との連携など様々な角度から総合的に一人ひとりのこどもの育ちの連続性を意識した支援を行っています。

主な行事等

- ・季節に応じたイベント ・夏まつり
- ・おでかけ体験（こぶし） ・避難訓練（月1回）
- ・入所児歓迎会、卒所式 他